

4 中期財政計画の検証

目標1：普通会計で市債残高150億円以上圧縮

達成

【H21 決算比・5か年間の合計】

市債発行額の抑制と繰上償還の実施により、将来の負担となる負債を可能な限り抑え、持続可能な財政運営を実現する。

市債残高（普通会計）

- ・ 26年度末見込額 1,988億3,800万円（対計画値 600万円の減）
（H26末計画値 1,988億4,400万円）

普通会計 ... 一般会計・住宅特会・公園墓地特会・用地取得特会・母子寡婦特会・
公債管理特会（普通会計分のみ）

基準となるH21末決算2,138億7,000万円に対し、150億3,200万円の減となる。

市債残高は、旧宮崎公立大学事務組合債の承継分（H26末残高見込8億6,100万円）を除く。

<参考>

- ・ 市債発行額
普通会計 164億2,900万円（一般会計 161億4,800万円）
- ・ 元金返済額
普通会計 198億9,500万円（一般会計 194億7,700万円）
普通会計は、旧宮崎公立大学事務組合債の承継分（2億3,328万円）を除く。

目標2：財政5基金残高200億円以上の確保

達成

経費を抑制するとともに、財源の確保に努めることで、基金の取崩しを最低限に抑え、自前の財源確保による財政の自立性及び緊急時への対応を図る。

財政5基金残高

- ・ 26年度末見込額 259億5,200万円（対計画値 32億6,900万円の増）
（H26末計画値 226億8,300万円）

財政5基金 ... 財政調整基金・財源対策債等償還基金・公共施設整備等基金・地域振興基金・
土地開発基金

<参 考>

財政対策基金取崩額

- ・ H26 予算額 22 億円 (対予定額 10 億円の増)
- ・ H26 予定額 12 億円
- (取崩の内容) ・ 財政調整基金 12 億円 (退職手当分 9 億 7,200 円を除く)
- ・ 公共施設整備等基金 10 億円

目標 3 : 行政運営経費を 80 億円以上削減

達成

(一般財源ベース)【H22 予算額と 4 か年 (H23-H26) の合計を比較】

行財政改革を進め、財政運営の基本として、選択と集中により、経費を削減する。

行政運営経費削減額 (一般財源ベース)

- ・ 26 年度削減額 33 億 3,600 万円 (計画値より 2,700 万円多く削減)
- (H26 計画値 33 億 900 万円)

行政運営経費 ... 人件費・普通建設事業費・補助費等・物件費の合計

基準となる H22 当初予算 447 億 5,300 万円に対し、累計で 80 億 4,200 万円の減となる。

<参 考>

削減額 (一般財源ベース)

- ・ H25 削減額 29 億 6,500 万円
- ・ H24 削減額 12 億 300 万円
- ・ H23 削減額 5 億 3,800 万円

(主な内容)

- ・ 人件費 (職員数の減、退職手当等の減) 7 億 8,000 万円の減
- ・ 普通建設事業 (公共施設整備等基金の活用等) 17 億 9,000 万円の減
- ・ 補助費等 (企業会計繰出金等の減) 4 億円の減